

大阪 あちこち

●砂川奇勝

J R和泉砂川駅を降りて、山手に15分ほど歩くと、住宅地の中に白い丘と松の木が印象的な、皆から「すなやま」と呼ばれる小さな公園があります。

「すなやま」と呼ばれているこの公園は、正式名称を「砂川奇勝」といい、今からおよそ200万年前の洪積期に和泉砂岩の風化した崩土が海底に堆積し、地殻変動により隆起して丘陵となったものです。この丘陵は元来海の底にあった砂岩ですから大変もろく、雨水によってどんどん侵食され変形していきます。この削られた姿が、砂が流れる川のように見えたため、「砂の水を流せるを以て此の名あり」といわれ、現在の「砂川」という地名がつけられました。



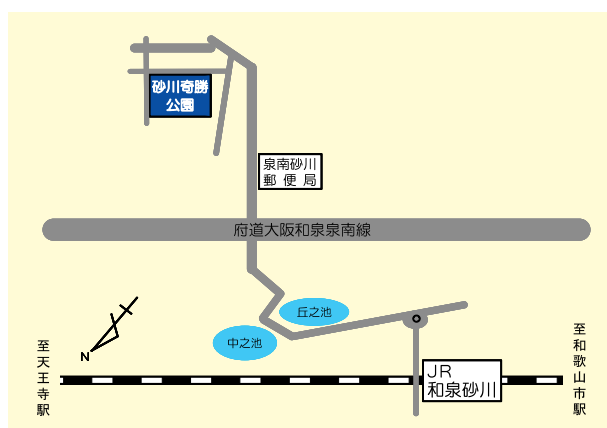
削られた丘は人工的には作り出せない独特の景観を創り出し、ある時は猛虎の姿に、またある時は天に駆け登る飛龍の姿に見えたといわれています。また白い砂岩と周りの松の木の緑が



美しく、戦前は花壇やボート乗り場、展望台などが計画され、当時は泉州でも随一の景勝地として賑わい、訪れる人が絶えなかったということです。

戦後、その規模は縮小されましたが、砂岩層から数千年前の貝や魚の化石を見つけたり、丘を滑り台がわりにダンボールで滑り降りたりするなど、相変わらず子どもたちの絶好の遊び場でした。

現在、その大部分が住宅地として開発され消失してしまいましたが、今もその一部が砂川奇勝公園として大切に保存されており、春や秋になると遠足で訪れた小学生たちの元気な声で「すなやま」は賑わっています。



▼お問い合わせ先▼

泉南市総務部政策推進課

TEL 072-483-0004

FAX 072-483-0325

E-mail seisaku@city.sennan.lg.jp